

北部市街地交通対策に関する 調査結果について



目次

- 1.交通量等調査結果について・・・2頁～5頁
- 2.アンケート調査結果について・・・6頁～23頁
- 3.調査結果のまとめ・・・24頁～25頁



1.交通量等調査結果について



交通量調査等の概要

目的

一番街において交通規制を実施した際の周辺交通への影響を測定するため、一番街周辺の主要交差点において交通量調査及び渋滞長調査を実施しました。

調査日時

令和7年5月3日(土・祝)

9:00~19:00(10時間連続)

調査項目

(1) 交通量調査

調査地点において、通過する車両を方向別、車種別、時間別に計測しました。車種分類は5分類とし、集計は1時間毎としています。

(2) 渋滞長調査

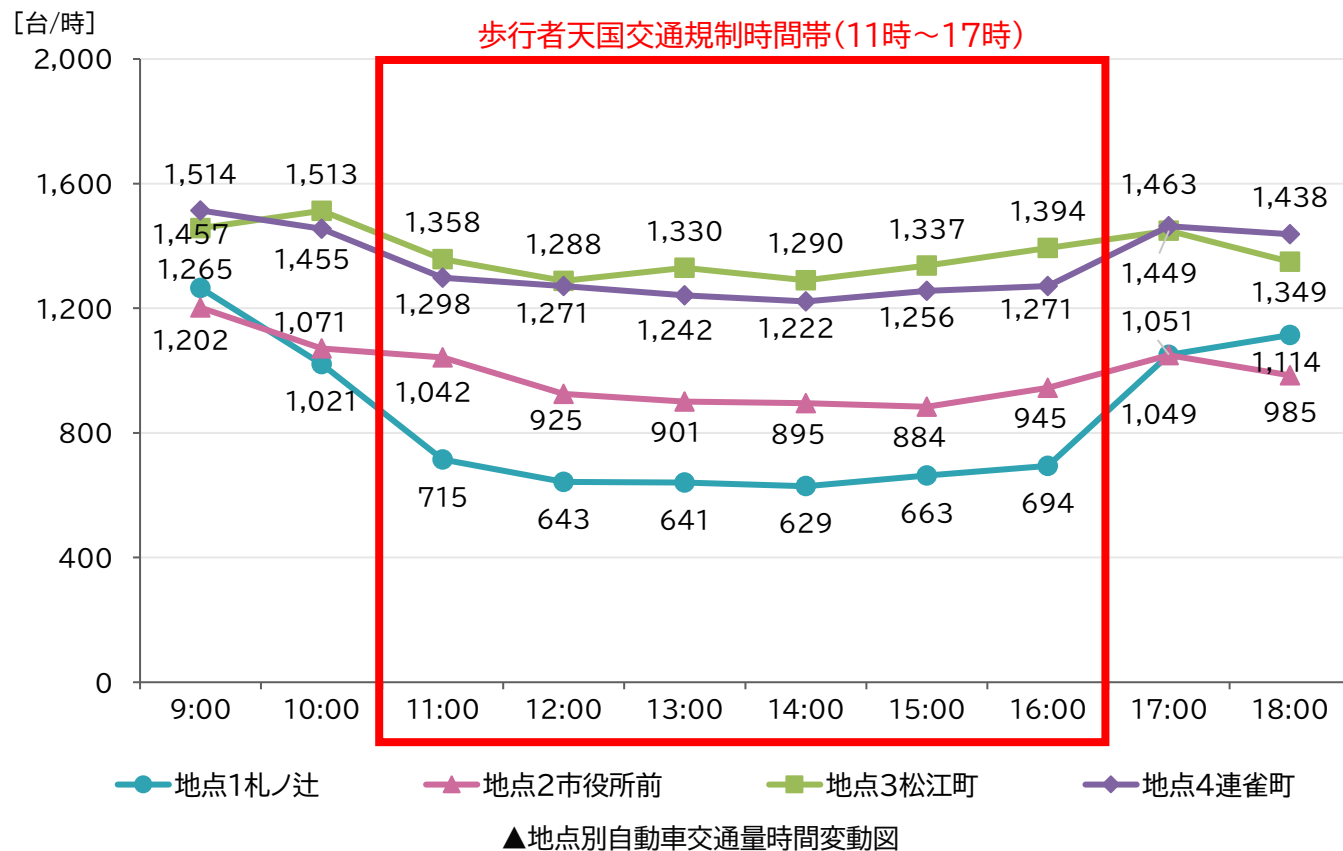
各流入部の信号機が赤から青に変わった瞬間の車列の最後尾(滞留長)と、その最後尾の車両が1回の青信号で交差点を通過できずに停止した位置(渋滞長)を観測しました。集計は10分毎に10m単位で計測しています。

調査地点



交通量調査結果

交通量調査結果について



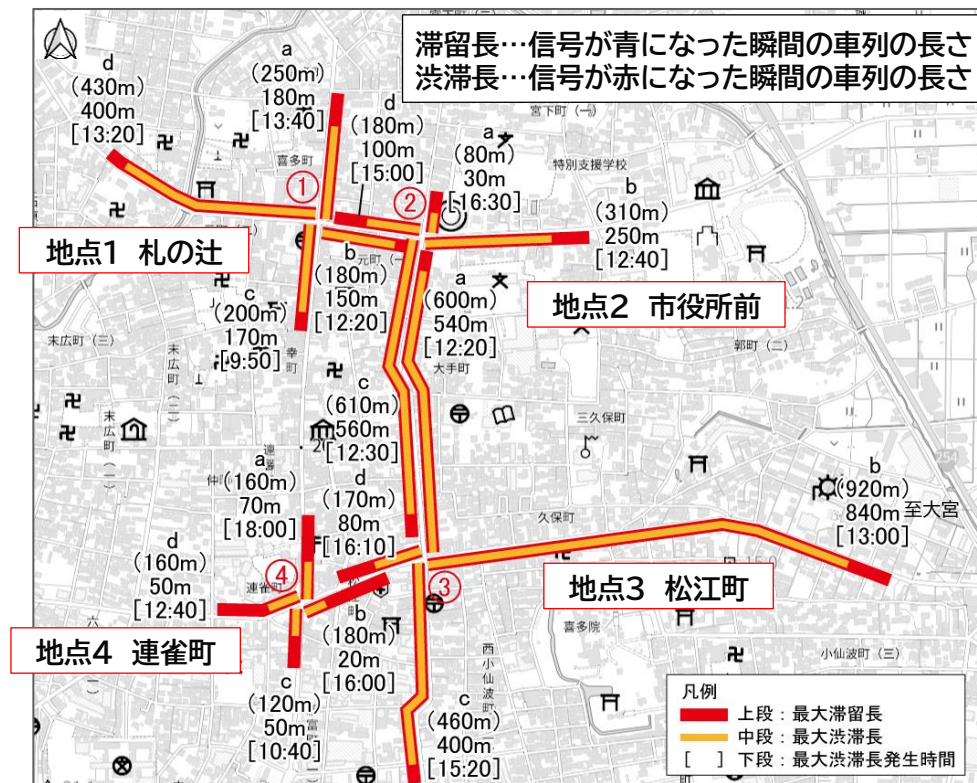
交通量調査を行った4地点の合計の交通量では9時台がピークであり、**歩行者天国交通規制時間帯(11時～17時)**はどの地点もピーク時より交通量が減少しました。

渋滞長調査結果

渋滞長調査結果について

地点	方向	最大 滞留長 [m]	最大 渋滞長 [m]	最大渋滞長 発生時間 [h:mm]
地点1 札の辻	a	250	180	13:40
	b	180	150	12:20
	c	200	170	9:50
	d	430	400	13:20
地点2 市役所前	a	80	30	16:30
	b	310	250	12:40
	c	610	560	12:30
	d	180	100	15:00
地点3 松江町	a	600	540	12:20
	b	920	840	13:00
	c	460	400	15:20
	d	170	80	16:10
地点4 連雀町	a	160	70	18:00
	b	180	20	16:00
	c	120	50	10:40
	d	160	50	12:40

▲最大渋滞長



▲渋滞状況図

各地点、各方向において渋滞が発生しました。**最も滞留長、渋滞長が延びたのは、地点3松江町のb方向(小仙波方面)**であり、ピーク時である13:00時点の滞留長は920m、渋滞長は840mとなりました。

2.アンケート調査結果について



アンケート調査概要

目的

一番街において交通規制を実施した際の影響を検証するため、地元住民及び商店街関係者、観光客に対してアンケート調査を実施しました。

住民アンケート

■調査期間

令和7年5月19日(月)
～6月13日(金)

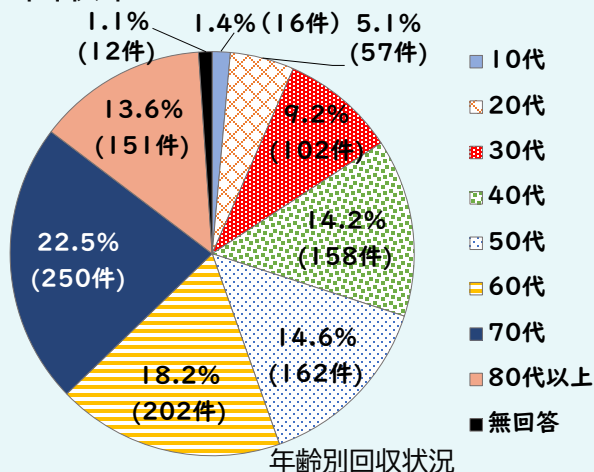
■対象者:北部市街地21自治会内の 住民2,493名

※各自治会ごとに約120名を無作為抽出
(前回も北部市街地内の全世帯対象)

■方法:郵送

■回収数:1,110件(6/20まで)

■回収率:44.5%



店舗・事務所及び駐車場関係者 アンケート

■調査期間

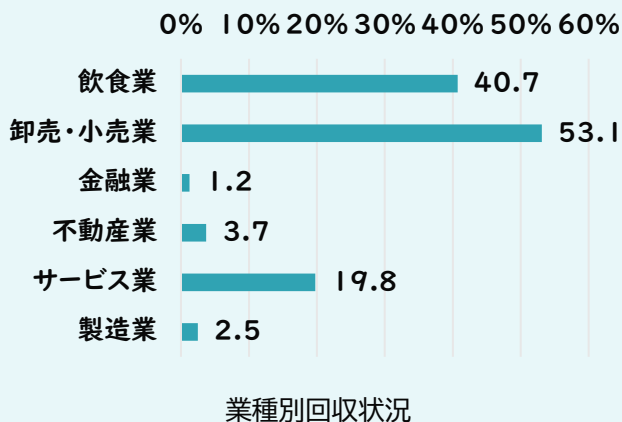
令和7年5月19日(月)
～6月13日(金)

■対象者:一番街沿道の店舗・事務所 及び駐車場関係者等128名

■方法:郵送

■回収数:83件(6/20まで)

■回収率:64.8%



観光客アンケート

■調査日

令和7年5月3日(土・祝)

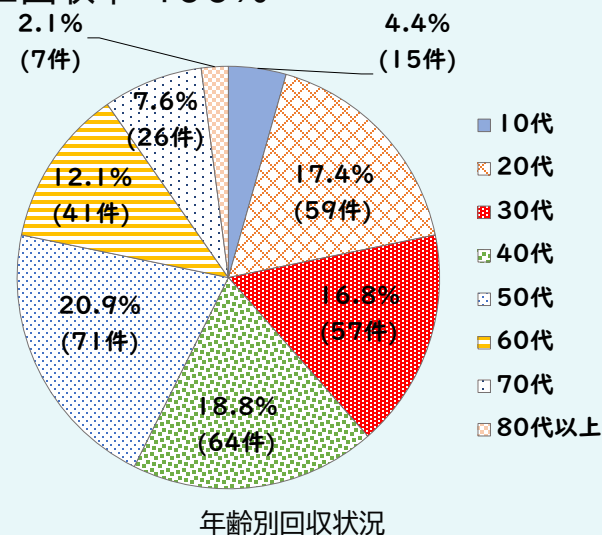
■調査時間:9時～19時

■対象者:一番街を訪れた観光客 340名(徒歩での来街者除外)

■調査方法:聞き取り

■回収数:340件

■回収率:100%

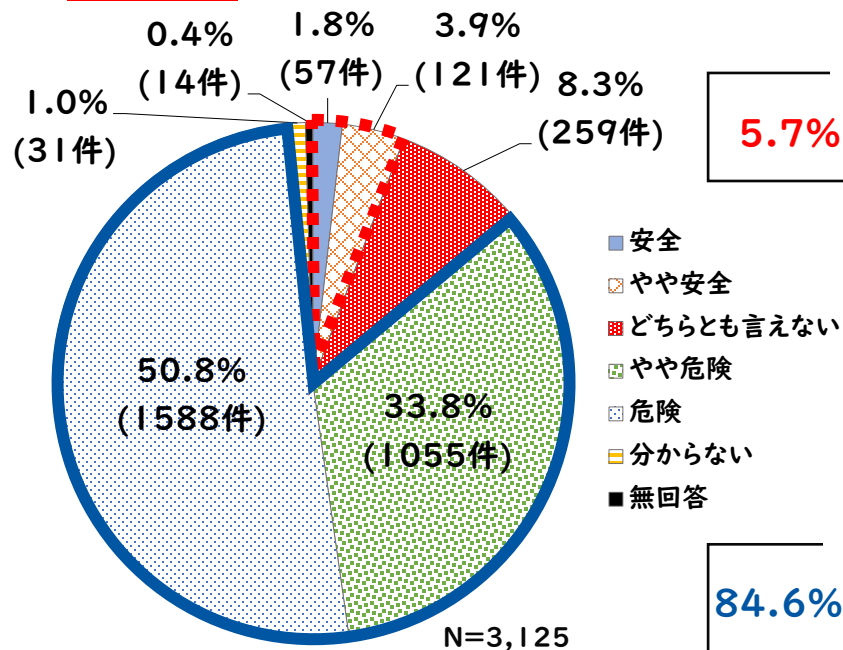


アンケート調査結果(住民アンケート)

一番街周辺の安全性について(昨年度との比較)

令和6年9月

Q. 一番街は、歩行者や車両にとって安全な交通環境だと思いますか。



安全増加

5.7%

39.3%

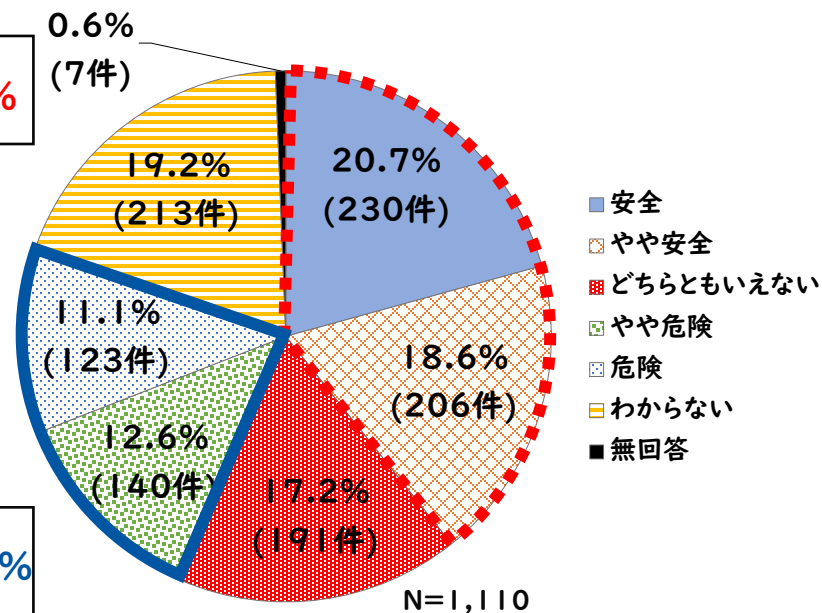
危険減少

84.6%

23.7%

令和7年5月

Q. 歩行者天国実施時の一番街周辺の交通環境は、どのように感じましたか。



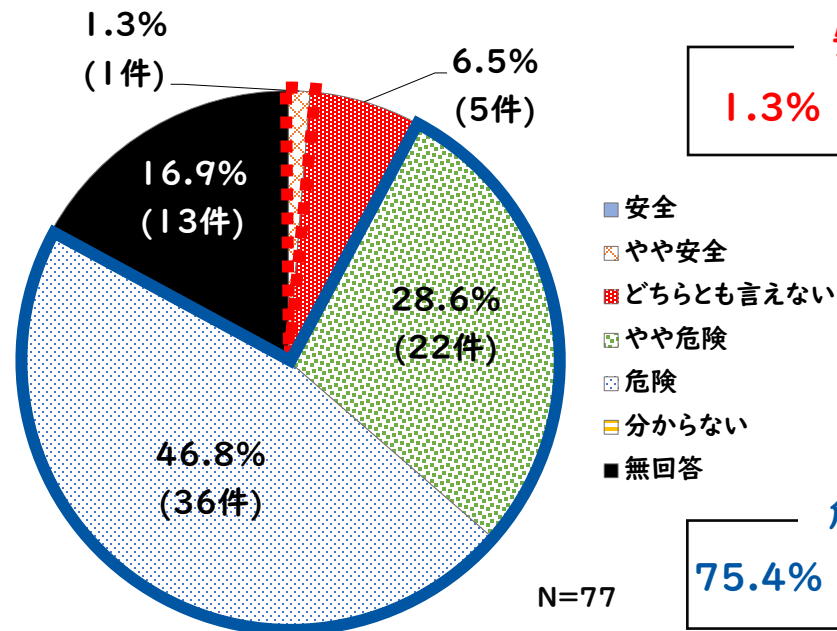
「安全」「やや安全」を合わせた割合は5.7%から39.3%へと大幅に増加するとともに、「危険」「やや危険」を合わせた割合は84.6%から23.7%へと大幅に減少しており、**歩行者天国実施により安全性を感じる方が増加しています。**

アンケート調査結果(店舗・事務所及び駐車場関係者アンケート)

一番街周辺の安全性について(昨年度との比較)

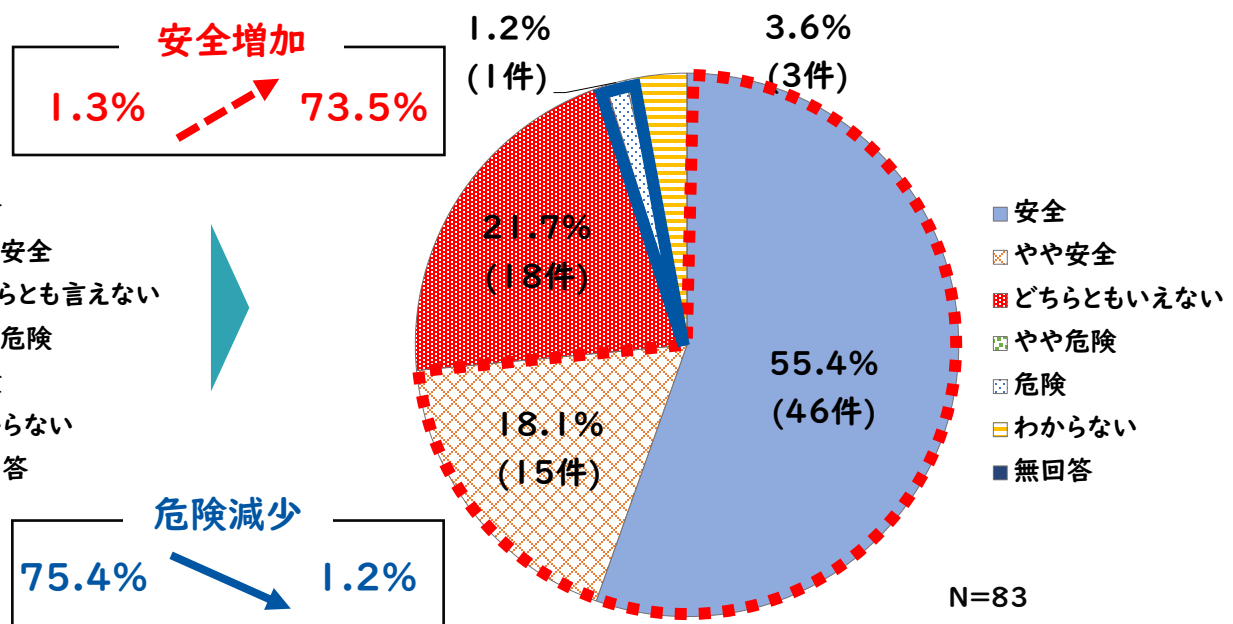
令和6年11月

Q. 一番街は、歩行者や車両にとって安全な交通環境だと思いますか。



令和7年5月

Q. 歩行者天国実施時の一番街の交通環境は、どのように感じましたか。



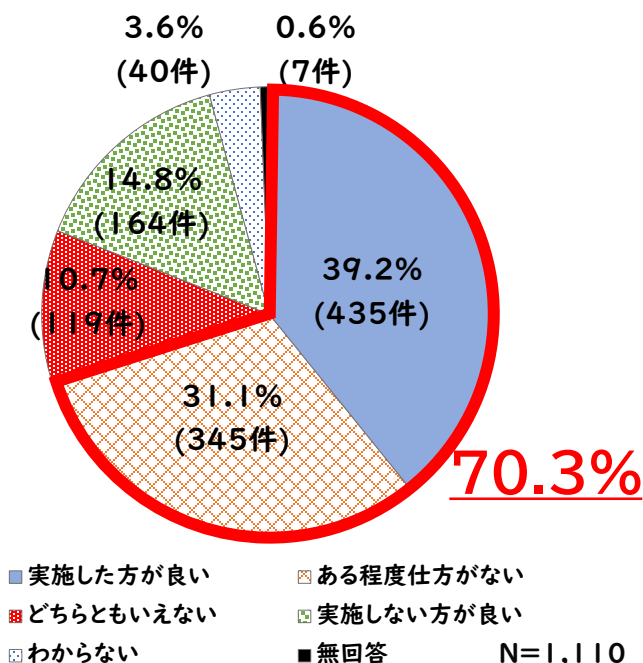
「安全」「やや安全」を合わせた割合は1.3%から73.5%へと大幅に増加するとともに、「危険」「やや危険」を合わせた割合は75.4%から1.2%へと大幅に減少しており、**歩行者天国実施により安全性を感じる方が増加しています。**

アンケート調査結果

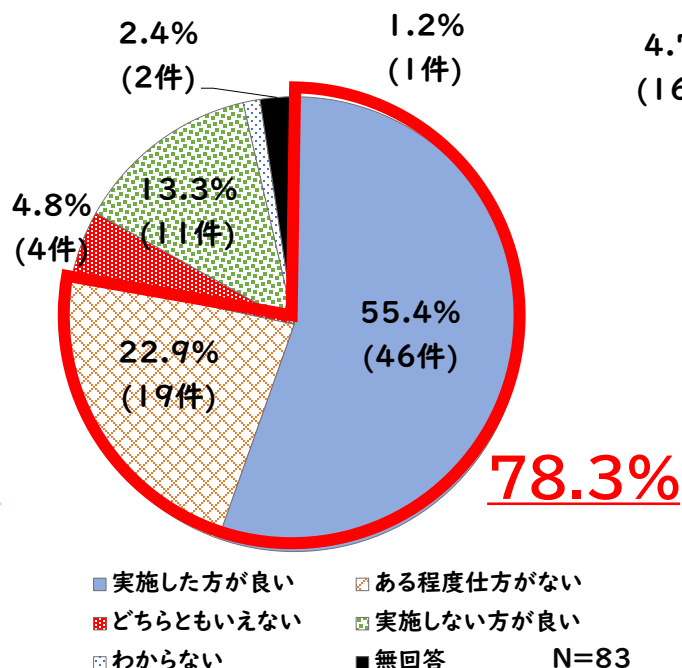
今後の歩行者天国の実施について

Q.安全対策として、今後の歩行者天国の実施について、どう思いますか。

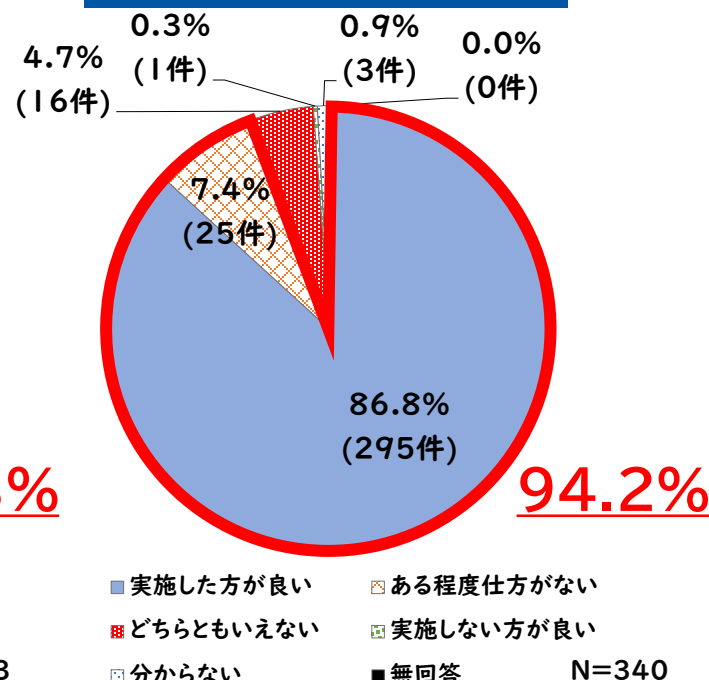
住民アンケート



店舗・事務所及び駐車場関係者アンケート



観光客アンケート



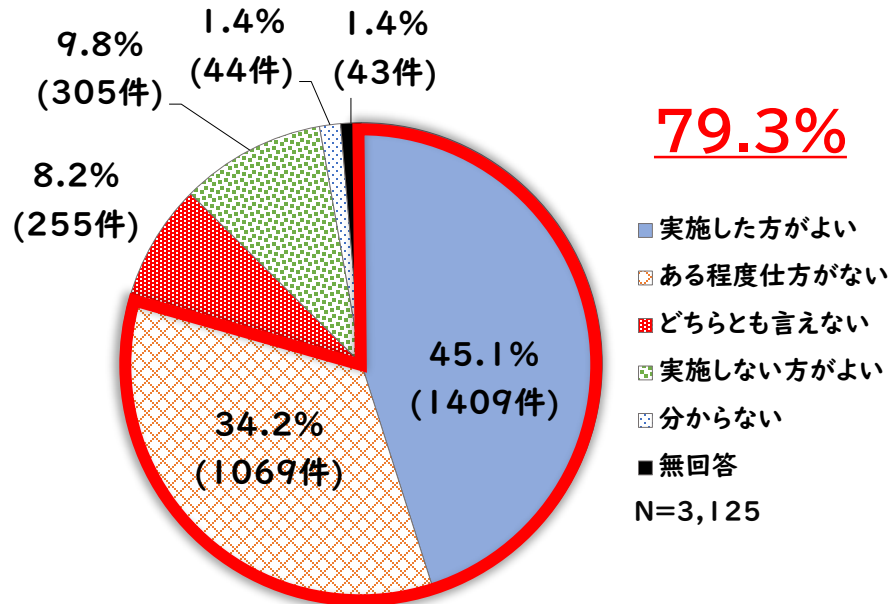
「実施した方がよい」「ある程度仕方がない」の回答を合わせた割合は、住民、店舗・事務所及び駐車場関係者、観光客のいずれも**7割を超える方が歩行者天国の実施に対して肯定的な回答をしています**。一方で、「実施しない方がよい」とする意見も一定数存在しています。

アンケート調査結果(住民アンケート)

交通規制及び歩行者天国の実施について(昨年度との比較)

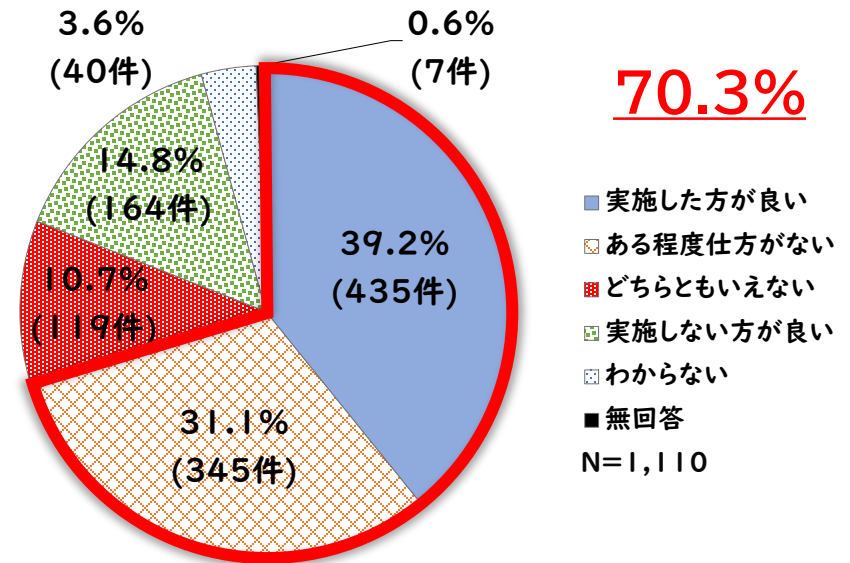
令和6年9月

Q.安全対策として、**交通規制を実施**することについてどう思いますか。



令和7年5月

Q.安全対策として、**今後の歩行者天国の実施**についてどう思いますか。



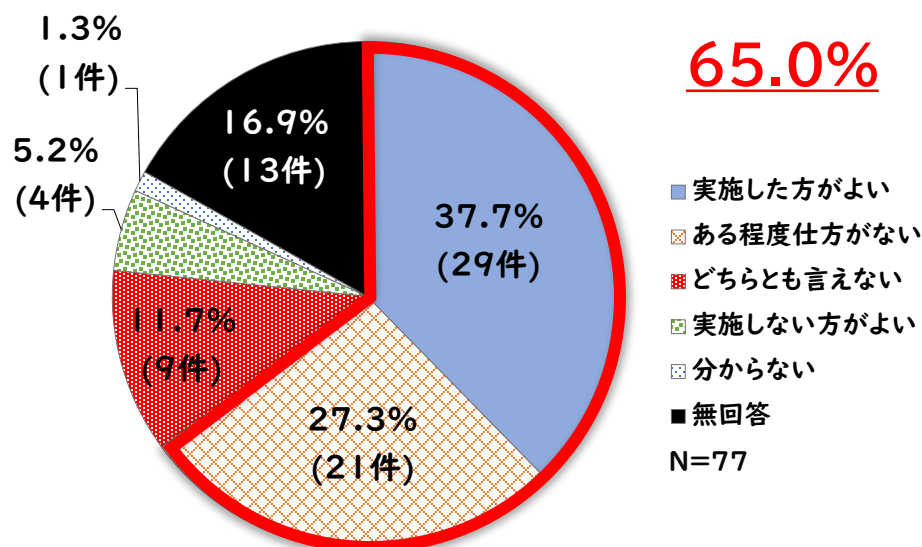
住民アンケートにおける「実施した方がよい」「ある程度仕方がない」の回答を合わせた肯定的な意見の割合は、昨年度の交通規制の実施についての設問では79.3%でしたが、今年度の歩行者天国の実施に限定した設問では70.3%となっています。

アンケート調査結果(店舗・事務所及び駐車場関係者アンケート)

交通規制及び歩行者天国の実施について(昨年度との比較)

令和6年11月

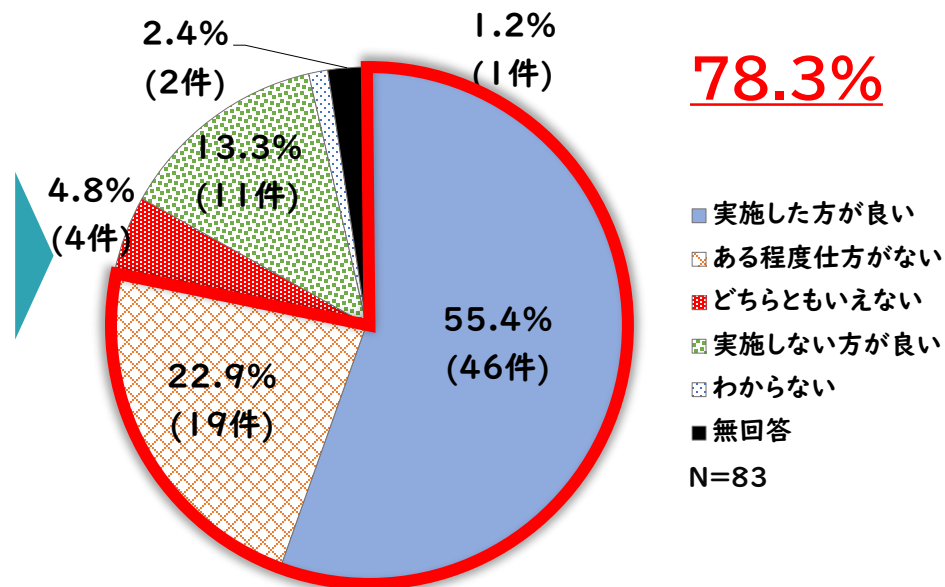
Q.安全対策として、**交通規制を実施**することについてどう思いますか。



65.0%

令和7年5月

Q.安全対策として、**今後の歩行者天国の実施**についてどう思いますか。

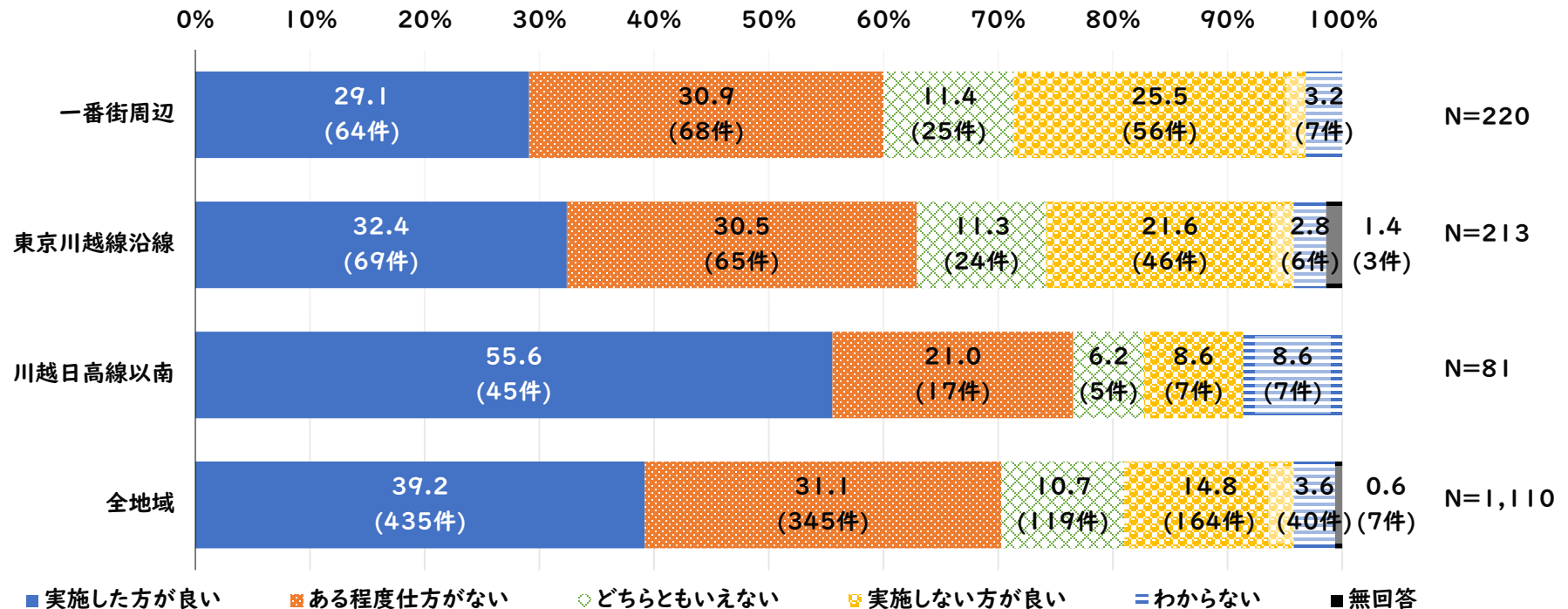


78.3%

店舗・事務所及び駐車場関係者アンケートにおける「実施した方がよい」「ある程度仕方がない」の回答を合わせた意見の割合は、昨年度の交通規制の実施についての設問では65.0%でしたが、今年度の歩行者天国の実施に限定した設問では78.3%となっています。

アンケート調査結果(住民アンケート)

今後の歩行者天国の実施について(地域別)



※一番街周辺・・・幸町、元町1・2丁目、仲町
 東京川越線沿線・・・元町1丁目、大手町、松江町1・2丁目(元町1丁目は重複)
 川越日高線以南・・・中原町1丁目、新富町1丁目

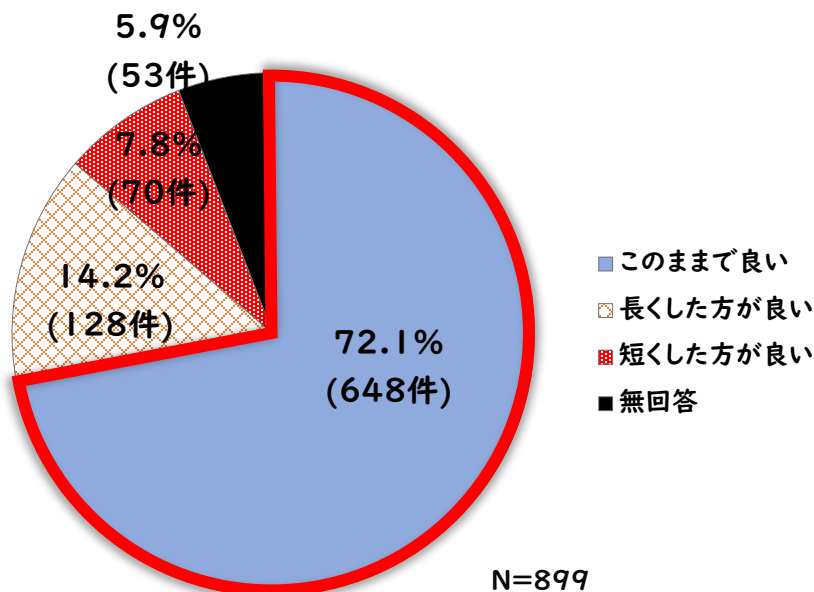
住民アンケートにおいて、「実施した方がよい」「ある程度仕方がない」の回答を合わせた割合は、一番街周辺の地域では60.0%、東京川越線沿線の地域で62.9%、川越日高線以南の地域では76.6%、全地域では70.3%となっており、**地域によって回答に若干差が見られます。**

アンケート調査結果

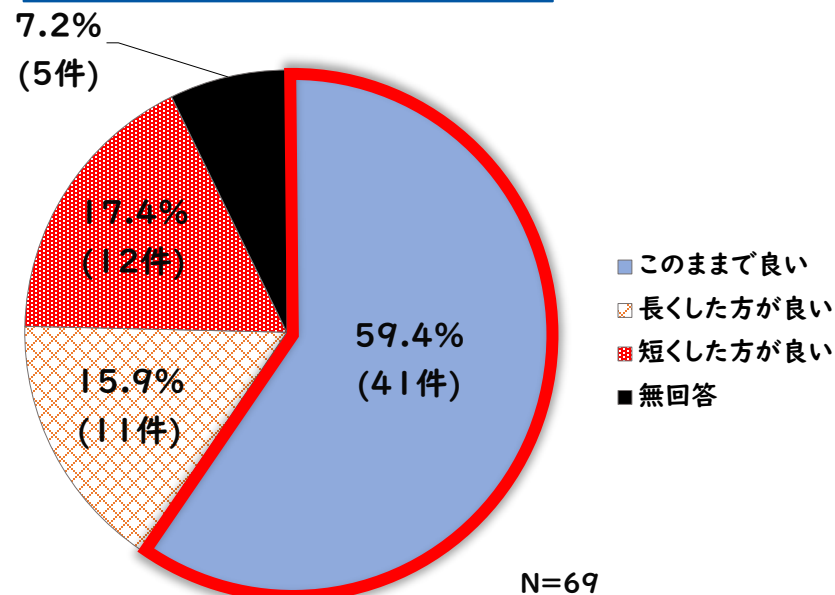
歩行者天国の実施条件(時間について)

Q.「実施した方が良い」「ある程度仕方がない」「どちらともいえない」と回答した方にお伺いします。
歩行者天国(春・秋各3日間、11時～17時)について、今後、実施していく場合に改善した方が良い
ことを教えてください。

住民アンケート



店舗・事務所及び駐車場関係者アンケート



歩行者天国の実施時間帯については、住民と店舗・事務所及び駐車場関係者のどちらも「**このままで良い**」という回答が半数以上となっています。また、「長くした方が良い」と「短くした方が良い」という回答を比較すると、住民では「**長くした方が良い**」という意見の方が多く、店舗・事務所及び駐車場関係者では「**短くした方が良い**」という意見の方が多くなっています。

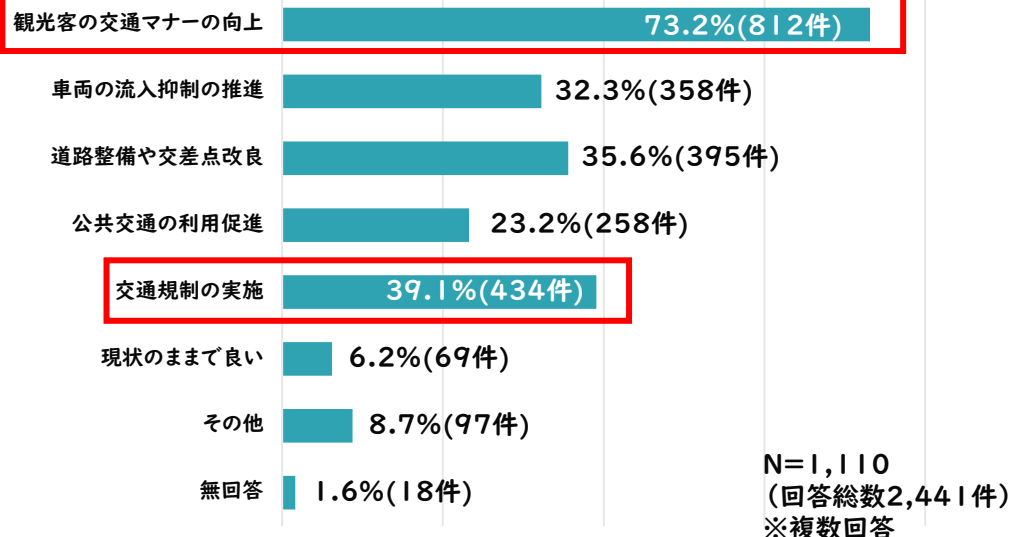
アンケート調査結果

求める交通対策について

Q.歩行者の安全・安心な交通環境を実現するため、どのような対策を実施した方が良いと思いますか。
(複数回答)

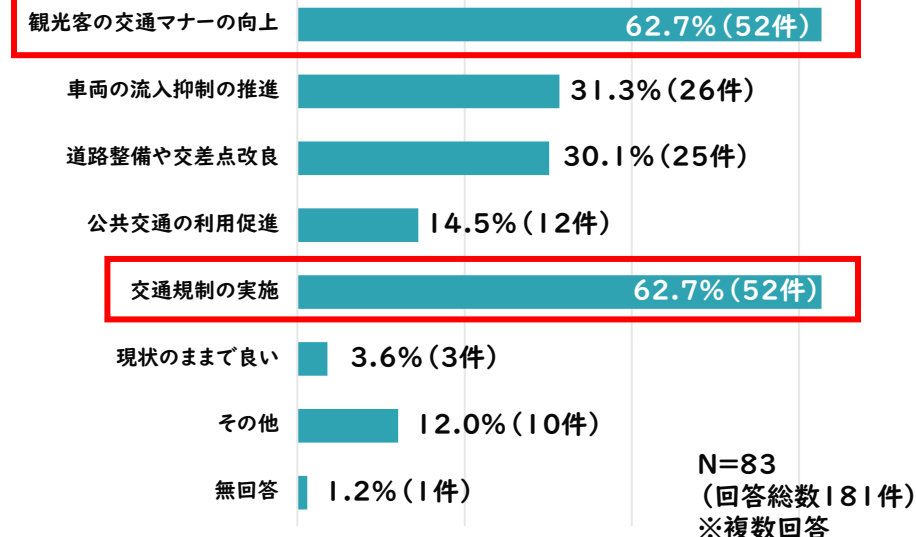
住民アンケート

0% 20% 40% 60% 80%



店舗・事務所及び駐車場関係者アンケート

0% 20% 40% 60% 80%



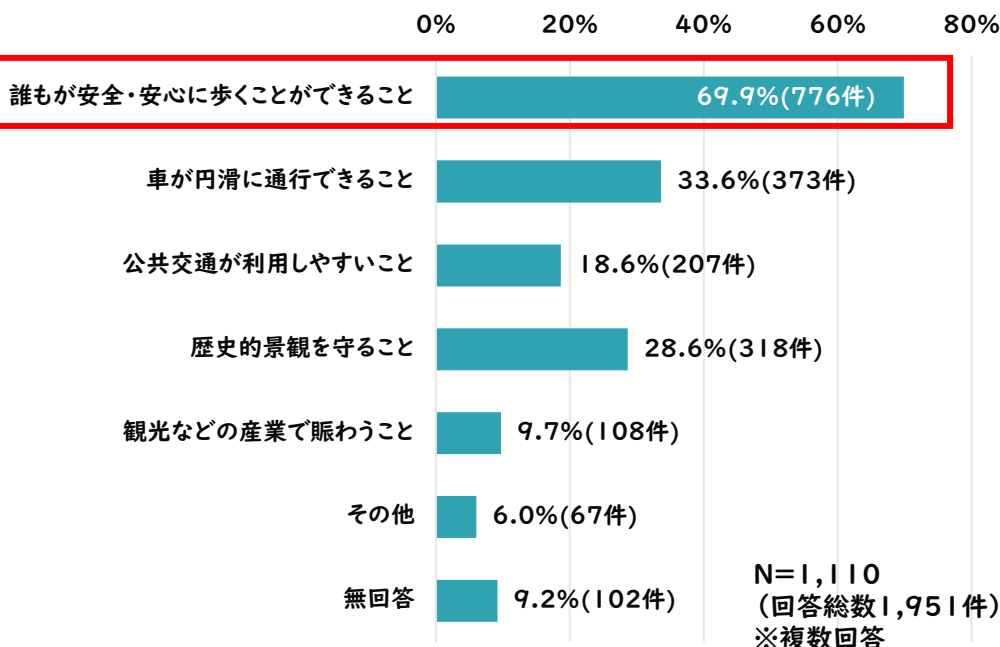
住民と店舗・事務所及び駐車場関係者のどちらも「観光客の交通マナーの向上」を求める意見が6割以上と最も多く、次いで「交通規制の実施」を求める意見が多い結果となっています。

アンケート調査結果

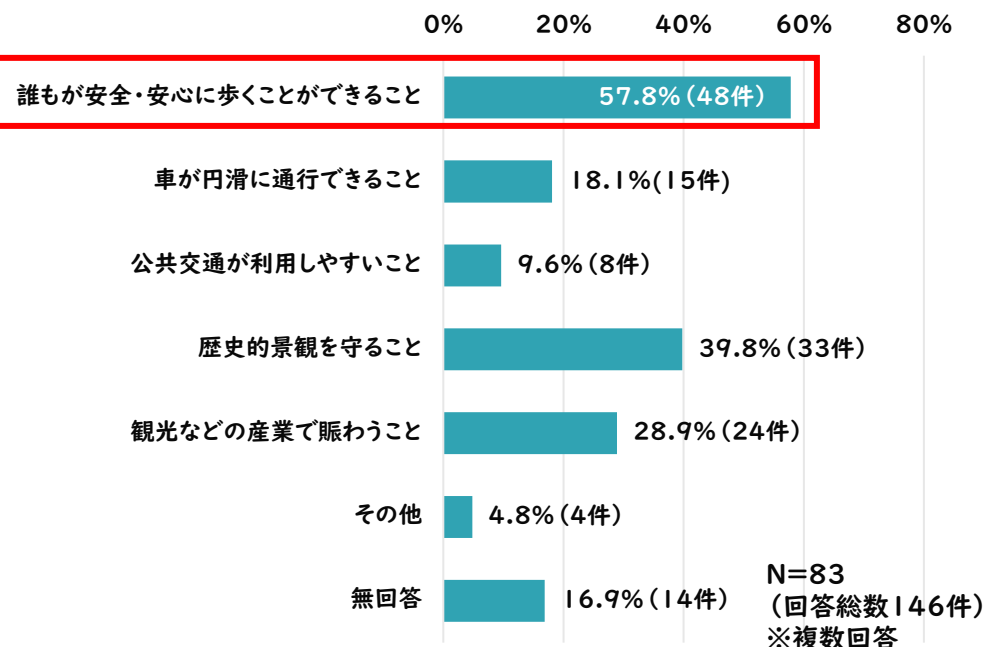
北部市街地のまちづくりについて

Q.北部市街地のまちづくりについて、今後、どのようなことを重視したいと考えますか。(複数回答)

住民アンケート



店舗・事務所及び駐車場関係者アンケート

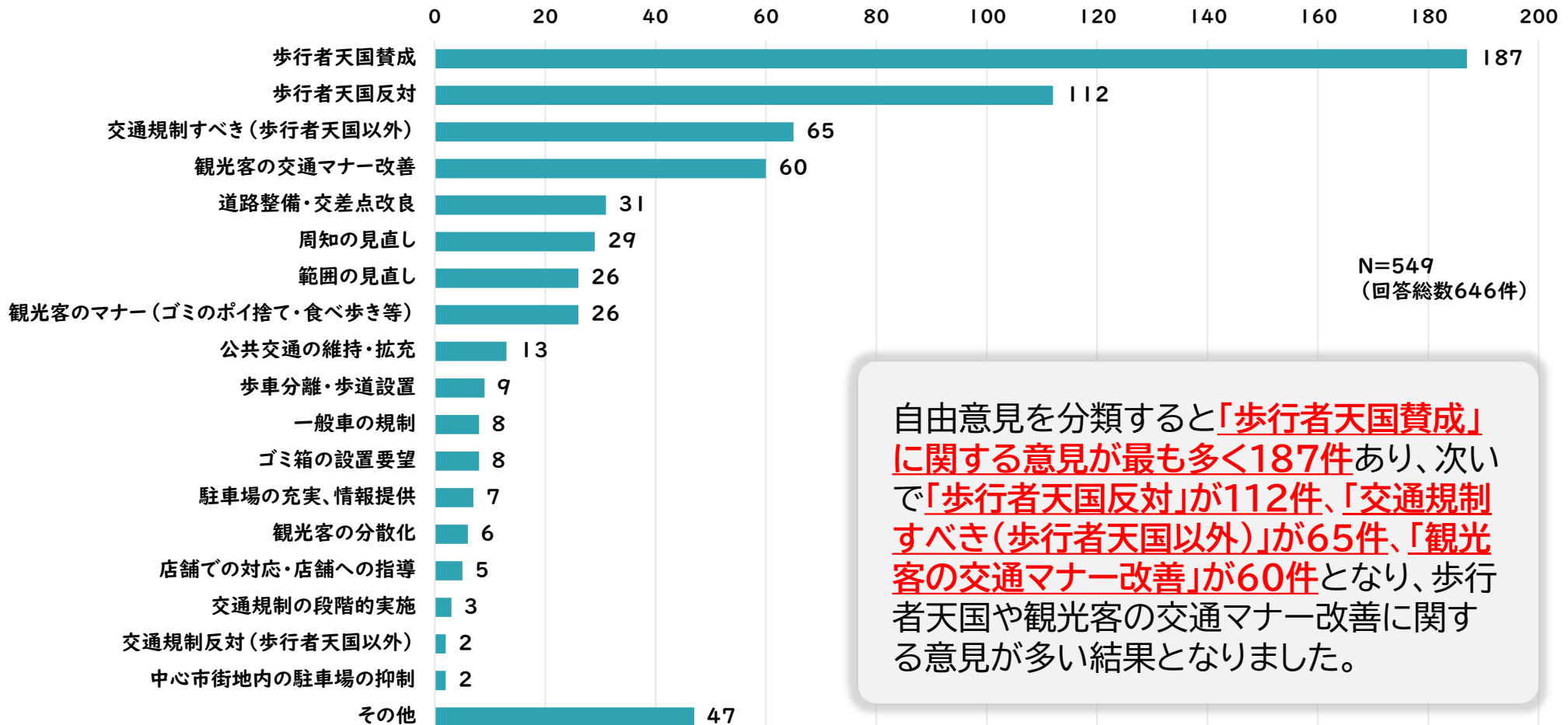


住民と店舗・事務所及び駐車場関係者のどちらも「誰もが安全・安心に歩くことができること」を重視する意見が半数以上と最も多い結果となっています。

アンケート調査結果(住民アンケート)

自由意見

Q. 今回の歩行者天国の試行的実施にあたり、ご意見があればお書きください。

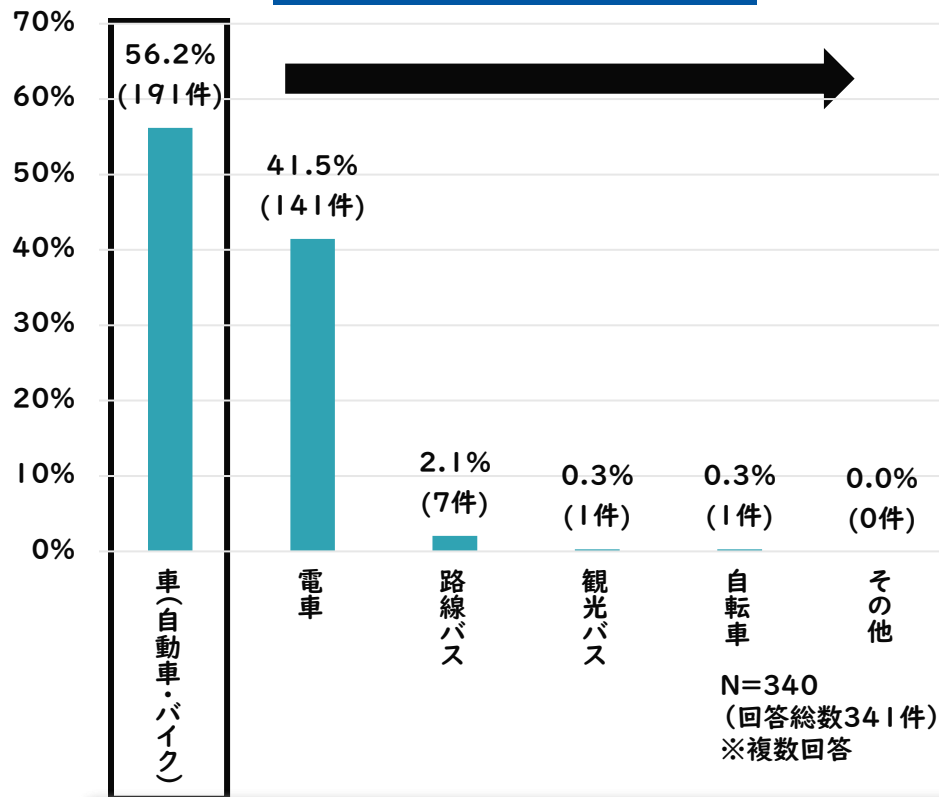


自由意見を分類すると「**歩行者天国賛成**」に関する意見が最も多く**187件**あり、次いで「**歩行者天国反対**」が**112件**、「**交通規制すべき(歩行者天国以外)**」が**65件**、「**観光客の交通マナー改善**」が**60件**となり、歩行者天国や観光客の交通マナー改善に関する意見が多い結果となりました。

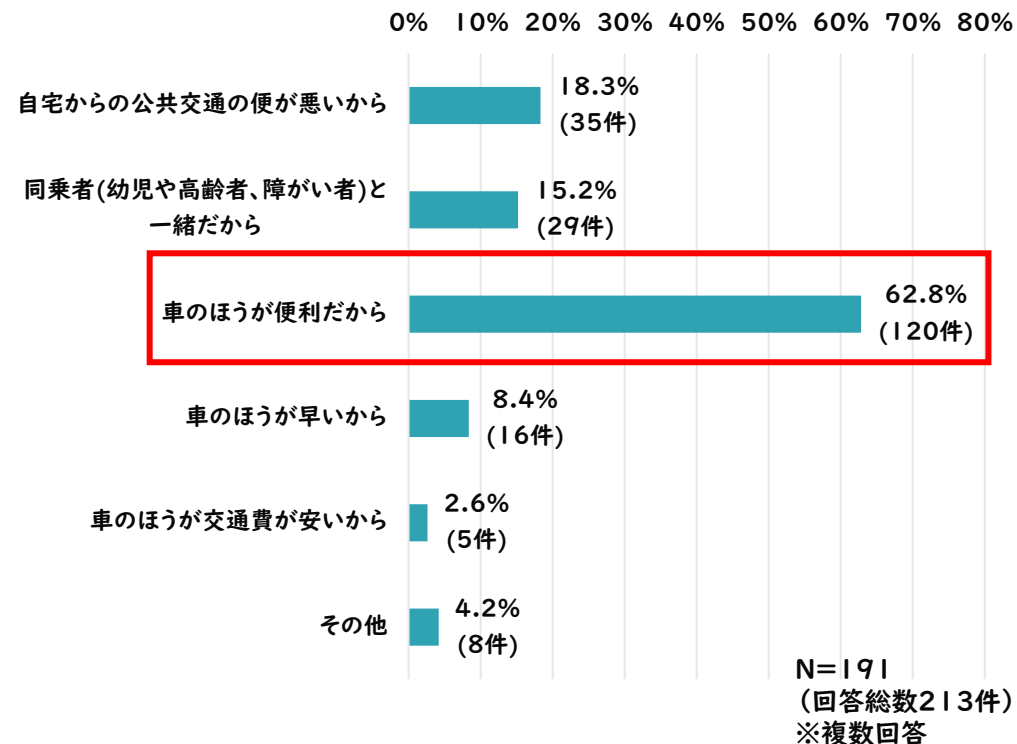
アンケート調査結果(観光客アンケート)

一番街への来訪手段及び理由について(車利用)

来訪手段(複数回答)



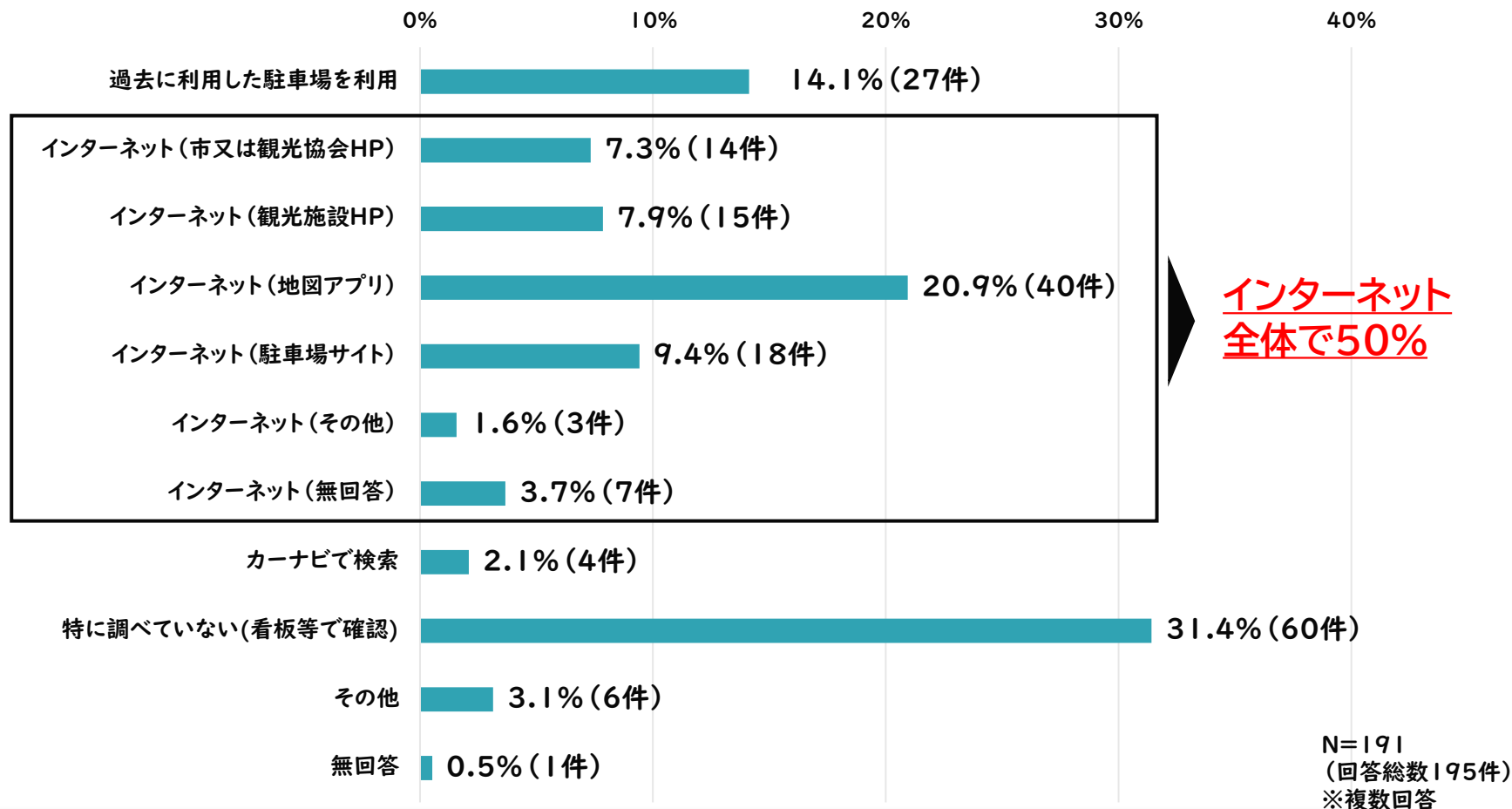
車を利用した理由(複数回答)



車(自動車・バイク)を利用して来訪した観光客は56.2%であり、**半数以上が車を利用して来訪しています**。車を利用した理由については、62.8%が「車のほうが便利だから」と回答しています。

アンケート調査結果(観光客アンケート)

駐車場を探す手段 (複数回答)

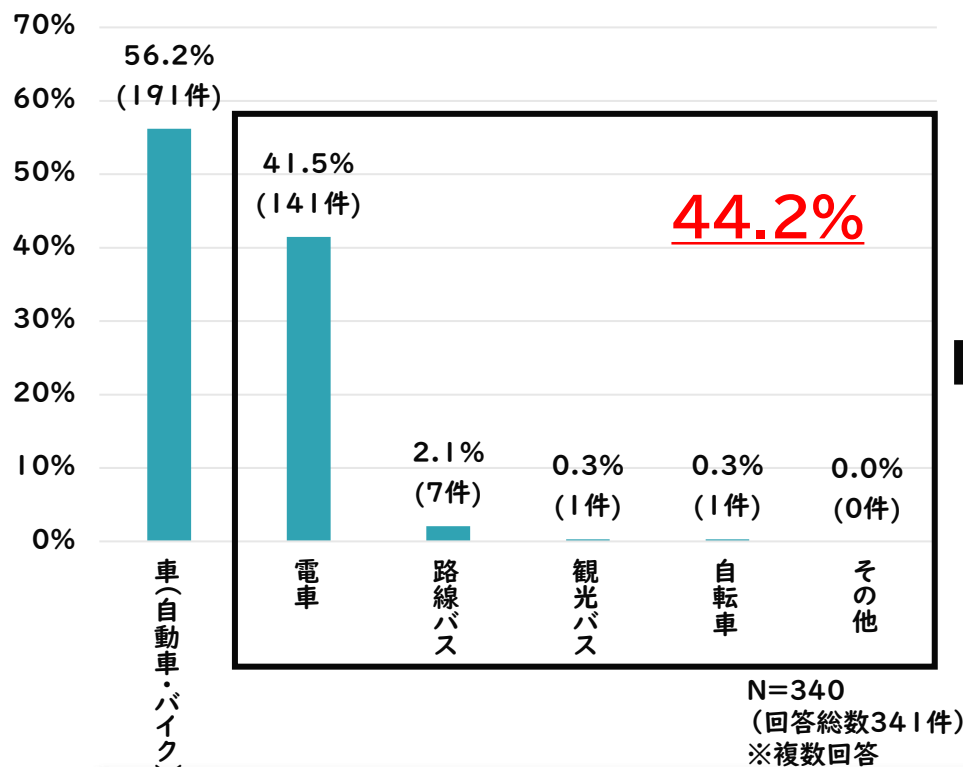


車(自動車・バイク)を利用して来訪した観光客が駐車場を探す手段として、**全体の50%がインターネット**を利用しており、中でも地図アプリの利用が最も多くなっています。また、特に調べることなく**現地で看板等確認する方が30%以上**いました。

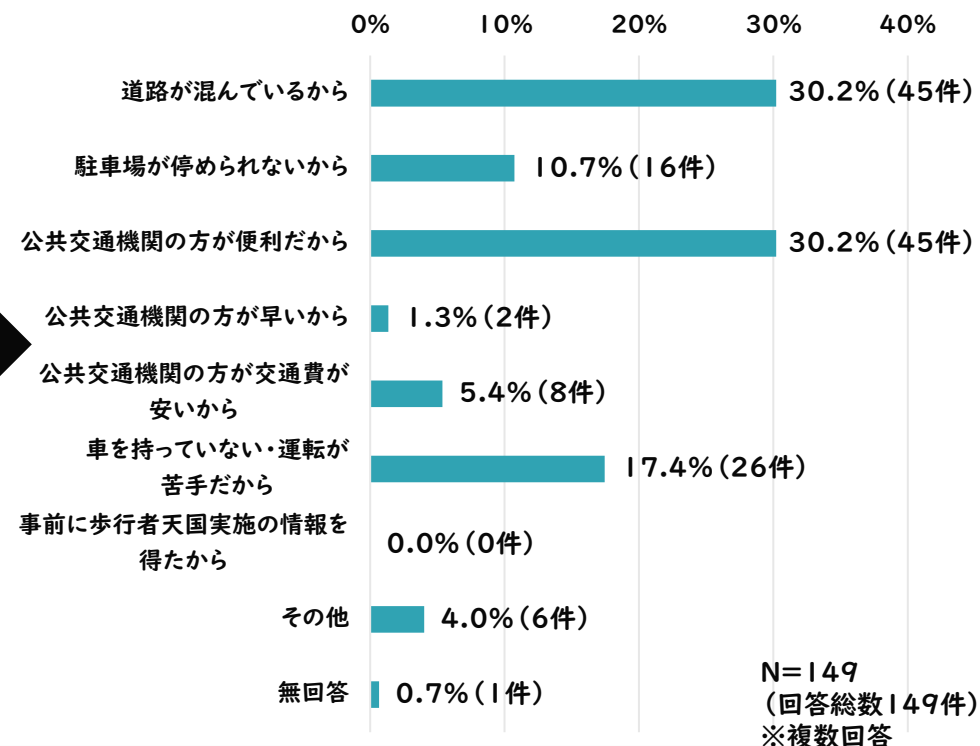
アンケート調査結果(観光客アンケート)

一番街への来訪方法及び理由について(車以外の理由)

来訪方法(複数回答)



車以外を利用した理由(複数回答)

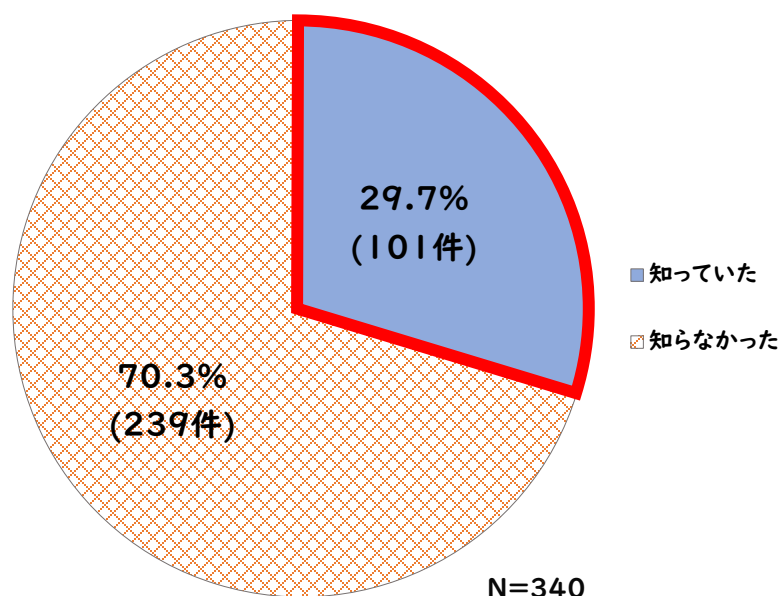


観光客の中で車以外を利用した人は44.2%であり、その中では電車を利用した人が最も多い結果となっています。車以外を利用した理由としては、「道路が混んでいるから」「公共交通機関の方が便利だから」が同率で最も多く30.2%となっています。

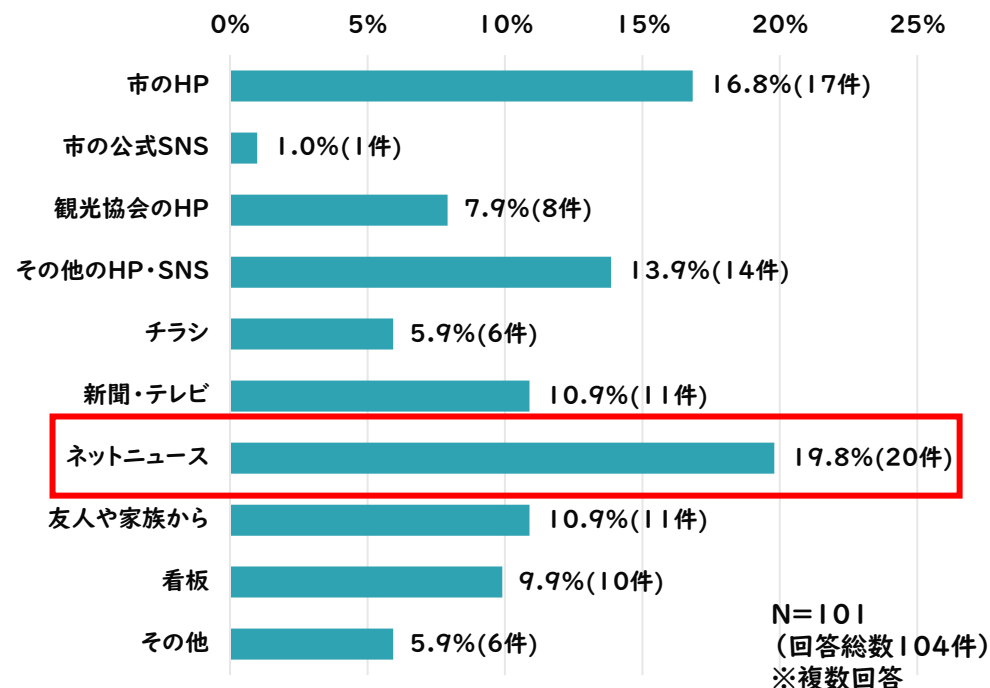
アンケート調査結果(観光客アンケート)

歩行者天国の認知について

歩行者天国の認知について



歩行者天国を知った情報源(複数回答)

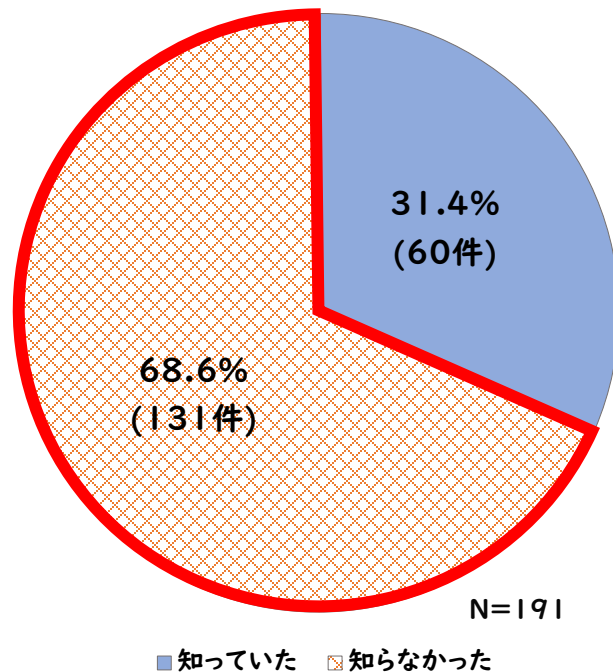


観光客の中で歩行者天国の実施を事前に知っていた人は29.7%であり、情報源としては、ネットニュースの19.8%が最も多く、次いで市のHPが16.8%と多くなっています。

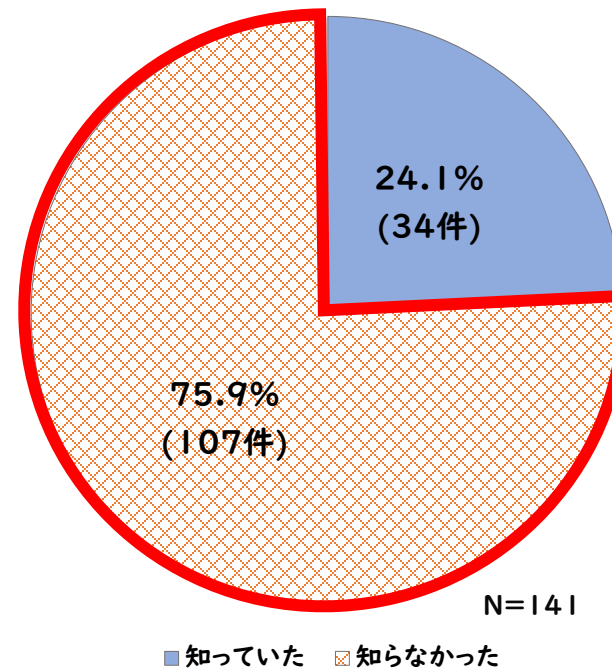
アンケート調査結果(観光客アンケート)

来訪手段×歩行者天国の実施の認知

車利用者



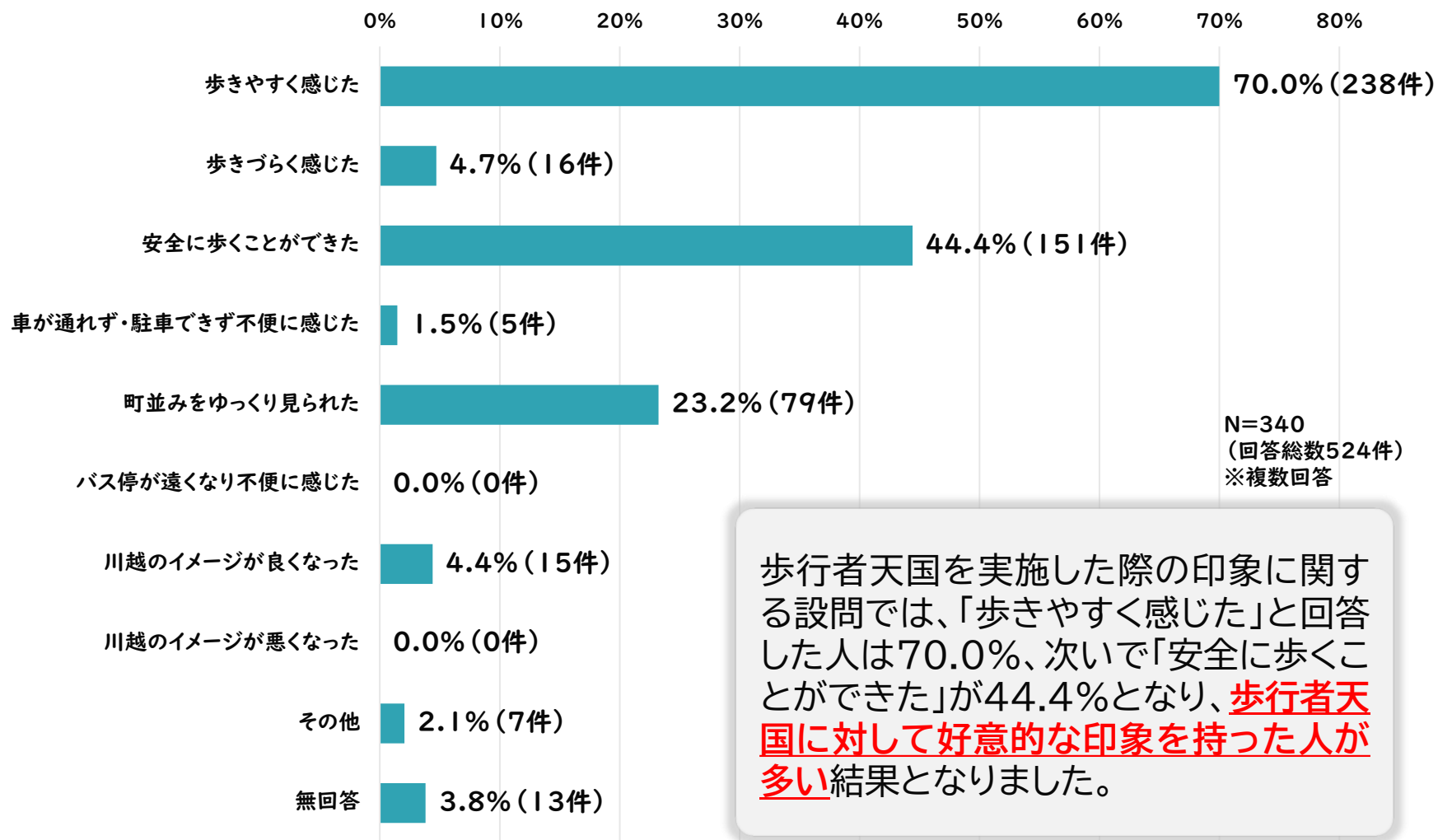
電車利用者



車を利用した人の68.6%が歩行者天国の実施を認知しておらず、電車を利用した人の75.9%が歩行者天国の実施を認知していないなど、観光客に対して**周知が十分に行き届いていない**という結果が見られました。

アンケート調査結果(観光客アンケート)

歩行者天国の印象について (複数回答)



3.調査結果のまとめ



交通量調査及びアンケート調査結果のまとめ

一番街の安全性について

- ・ 住民アンケート及び店舗・事務所及び駐車場関係者アンケートのどちらも一番街の安全性の向上、危険性の低下を感じており、歩行者天国の実施による交通環境の改善効果が見られます。一方で、住民アンケートでは、一番街周辺の交通に危険性を感じている意見も一定数あります。

歩行者天国実施の可否について

- ・ 歩行者天国の実施については、住民アンケートと店舗・事務所及び駐車場関係者アンケートのどちらも7割以上が比較的肯定的な回答となっています。一方で、否定的な意見も一定数存在し、地域によっても意見が異なることから、引き続き地域の御意見を丁寧に伺いながら、分析を進めてまいります。

周辺道路の渋滞について

- ・ 歩行者天国実施中に一番街周辺の道路で交通渋滞が確認されました。今後は、前年同時期との比較や来街者分析等を通じて要因を分析するとともに、改善策についても検討してまいります。

歩行者天国実施の周知について

- ・ 観光客は、歩行者天国の実施について認知していた人が29.7%に留まっており、周知方法について課題が残る結果となりました。11月の実施に向け、より効果的な周知方法等について検討してまいります。